

【樹木の部屋】

チリマツ(ナンヨウスギ科ナンヨウスギ属 *Araucaria araucana*)

和名：チリマツ、ヨロイスギ **別名**：アラウアカリア、チリーパイン

英名：Monkey Puzzle Tree

マツ目 常緑針葉樹・高木 **原産地**：チリ中南部

花言葉： **花の色**：



← 写真-1 チリマツの樹姿

撮影日：2015年07月08日

撮影場所：ロカルノ（スイス）にて

撮影者：M さん



↑ 写真-2 チリマツの小枝

撮影日：2016年05月29日

撮影場所：サンタンドレ大聖堂

～ボルドー（フランス）にて

撮影者：M さん



← 写真-3 チリマツの枝先

撮影日：2016年05月29日

撮影場所：サンタンドレ大聖堂

～ボルドー（フランス）にて

撮影者：M さん

最初に見かけたのは、スイスのロカルノのホテルベランダから。遠目に、チヨット変わった雰囲気のある植物が目に入りました。そのときは樹名不詳でした。翌年、フランス南部のボルドーを訪れた際、サンタンドレ大聖堂の前で再会。帰国後、調べてみると、チリマツでした。

英名、Monkey Puzzle Tree(モンキーパズルツリー)の由来ですが、枝や葉がギザギザしていてサルが登れないとの事から・・・。そこで和訳すると「サルが困る木」となります。

生長がとても速いのが特徴で、ニュージーランドに移植されたものをニュージーランド松と呼ばれています。1000年以上を生き続けるそうです。

枝の先に丸い球果をつけ、種子は、栄養に富み、料理するとおいしく、チリのペウエンチエ族はこの種子を主食としている他、収穫祭や豊作祭の行事に重要な木だそうです。

材は比較的強度もあり適度に耐久性もあるそうですが、接着すると保存性に欠けるそうです。木材業界で言うチリマツ(チリ松、チリーマツ)は別種のもので、米国のラジアータパインをチリに植林したものだそうです。